

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	水道施設整備事業調査費 (水道施設整備事業調査諸費含む)		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度		担当課室	水道課		水道課長 宇仁菅 伸介		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道施設についての危機管理体制、耐震化状況、施工技術の動向の実態把握、水道施設の資産管理に関する調査等を行い、今後の水道事業のあり方について検討するもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	水道施設設置状況、耐震化基礎調査、水道施設整備施工技術動向調査、水道におけるアセットマネジメント導入等に関する調査、長期的な水需給を考慮した広域的な水道施設の再構築ガイドライン策定調査費、水資源開発施設の有効利用等に関する調査、浄水処理施設等の最適化に関する調査の実施。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	/					
		繰越し等	/					
		計	37	33	32	32	34	
	執行額	35	31	29	/			
	執行率 (%)	94.6%	93.9%	90.6%	/			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (30年度)
	耐震化計画策定率		成果実績	%	22	25	28	100
			達成度	%	22	25	28	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	調査件数		活動実績 (当初見込み)	件	9 (6)	9 (7)	6 (6)	- ( )
			算出根拠		水道施設整備事業調査費執行額 / 調査件数			
単位当たりコスト	4.6 (百万円 / 件)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	水道施設整備事業調査費	30	30	調査対象自治体の増に伴う増額				
	水道施設整備事業調査諸費	2	4					
計	32	34						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	安全で質の高い水道を確保するため、水道施設の整備を適切に実施するため各調査を実施することは広く国民のニーズがある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	水道施設の整備を適切に実施するため各調査を実施することは全国一律に行う必要があり、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	安全で質の高い水道を確保するため、水道施設の整備を適切に実施するため各調査を実施することは優先度が高い。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	業務を実施するにあたり、一般競争入札を行い、競争性の確保を図っているため、支出先の選定も妥当である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	調査実施件数によるところがあるが、適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みどおりであり、見込みに合ったものになっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物は今後の水道事業のあり方の検討に十分に活用されている。		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	H24年度においては、支出先・使途については、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できており、執行率も90.6%、活動実績も見込みどおりの調査を行い、当該目的に沿って適正に執行されたと考える。また、内容についても仕様に見合った成果品とすべく、中間の業務実施過程において適宜協議している。 水道施設の整備を適切に実施していくためには、効率的・体系的な管理手法の検討や施工技術の動向把握、水道施設の資産管理等に関する調査が不可欠である。なお、調査のテーマについては、水道施設における耐震化促進のための調査、アセットマネジメント導入や長期水需給バランスに関する調査など、適宜見直しをはかっている。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	水道施設の危機管理体制や耐震化状況等を調査し、今後の水道事業のあり方を検討するための経費であるが、経費の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	342	平成23年	310	平成24年	269

厚生労働省 29百万円

〔 調査仕様書の作成、請負業者の指導監督 〕



【総合評価入札・一般競争入札・少額随契】

A. 民間業者(3) 27百万円

〔 調査実施 〕

対象外(事務費) 2百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)日水コン		
費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費等	人件費、諸経費等	6
計		6

E.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

B.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

F.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

C.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

G.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

D.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

H.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日水コン	効率的な更新計画検討事業	6	1	63.1%
2	(株)日水コン	水道施設設置状況等基礎調査	6	1	90.2%
3	(株)日水コン	水道水源における消毒副生成物前駆物質汚染対応方策等検討調査業務	5	1	96.7%
4	(株)日水コン	水道事業の統合と施設の再構築に関する調査	5	1	93.6%
5	(株)極東技エコンサルタント	水資源の有効利用と水道事業の適正化に関する検討業務	2	1	54.0%
6	(社)日本水道協会	水道分野の情報セキュリティ検討調査	2	2	96.9%
7	(株)日水コン	東日本大震災水道復興支援協議会等の開催支援業務	0.9	随意契約	
8					
9					
10					